

## 2003年6月の日本の天候

少雨（関東甲信）、多雨（九州南部）

### 6月の天気概況

上旬は低気圧や台風第5号の影響で雨となる日があったが、その他の日は高気圧に覆われて晴れた。9日頃から12日頃にかけて九州から東北地方まで梅雨入りした後は、梅雨前線が日本の南岸に停滞し、西日本中心に曇りや雨の日が多かった。19～20日には台風第6号により西日本・南西諸島の各地で暴風や大雨となった。一方、北海道では月を通して高気圧に覆われて晴れる日が多かった。21日頃に沖縄地方、27日頃に奄美地方が梅雨明けとなった。また、南風が入りやすく、北日本を中心に気温が高めの日が多かった。

上旬：低気圧や台風第5号の影響で雨となった日があったが、その後は高気圧に覆われて晴れるところが多かった。9～10日には梅雨前線が本州の南まで北上し、この頃に九州から関東甲信地方までが梅雨入りした。また、南西諸島では寒気が入りやすく、低温傾向が続いた。旬平均気温は、南西諸島で低かったほかは平年並だった。旬降水量は、南西諸島で多く、北・東日本の日本海側で平年並のほかは少なかった。旬日照時間は、南西諸島で平年並のほかは多かった。

中旬：11～12日に低気圧が日本海を東進し、12日頃に北陸地方と東北地方が梅雨入りした後は、梅雨前線が日本の南岸に停滞し、西日本中心に曇りや雨の日が多かった。北海道では高気圧に覆われて晴れる日が多かった。19～20日には台風第6号が九州の西から日本海に進み、西日本や南西諸島の各地で暴風や大雨となった。また、全般に南風が入りやすく、北日本中心に気温が高い日が多かった。旬平均気温は、北・東日本で高く、平年より2℃以上高いところが多かった。西日本から南西諸島では平年並だった。旬降水量は、西日本太平洋側で多く、東日本太平洋側で少なかったほかは平年並だった。旬日照時間は、北日本で平年並となったほかは少なく、40%以下の所もあった。

下旬：旬初めは、梅雨前線が南下し弱まったが、旬の中頃からは梅雨前線が南岸に停滞し、東・西日本の太平洋側を中心に曇りや雨の日が多かった。北日本では、低気圧が通過して雨となる日があったほか、月末にはオホーツク海高気圧が強まって気温が下がった。日本の南海上では太平洋高気圧が西に張り出し、21日頃に沖縄地方、27日頃に奄美地方が梅雨明けとなった。旬平均気温は、東日本で高く、そのほかで平年並だった。旬降水量は、北日本太平洋側で多く、南西諸島少なかったほかは平年並だった。旬日照時間は、東日本太平洋側で多かったほかは平年並か少なかった。

### 6月の気候統計

**平均気温**：南西諸島、東北北部の太平洋側、九州南部の太平洋側で平年を下回ったほかは全国で平年を上回った。特に北海道のオホーツク海側、東北南部、関東甲信の一部、山陰の一部では平年を1.0℃以上上回ったところがあった。金沢（石川県）、大島（東京都）の2地点で6月の平均気温の最高値を更新した。

**降水量**：北海道・東北の一部、東日本、九州南部を除く西日本で平年を下回った。特に関東の一部では平年の40%以下のところがあった。千葉、銚子、館山（以上千葉県）、大島（東京都）の4地点で6月の月降水量の最小値を更新した。特に、千葉では38.0mm（平年比27%）の降水量しか観測されなかった。一方、北日本の一部と九州南部、南西諸島の一部で平年を上回った。北海道の東部では平年の200%以上の降水となったところがあった。

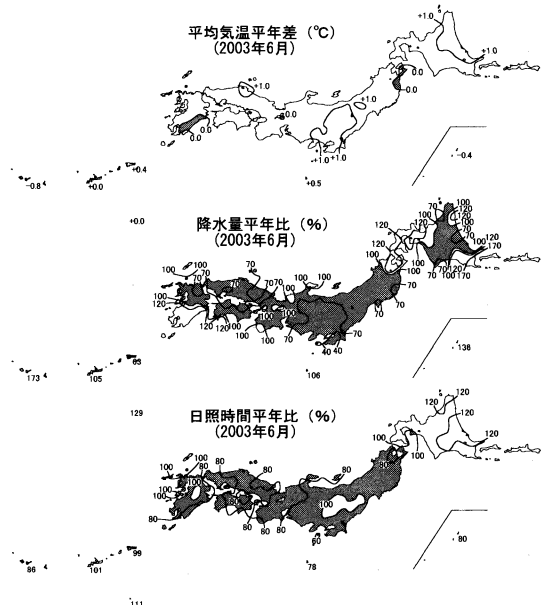
**日照時間**：北海道と南西諸島の一部で平年を上回ったほかは、全国で平年を下回った。西日本の一部では平年の80%以下となったところがあった。

（気象庁観測部統計室）

### 6月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）  
金沢 21.9 大島 21.5
- ・月降水量少ない方から（mm）  
千葉 38.0 銚子 69.0 館山 82.5  
大島 127.5

### 2003年6月の平年差（比）図



注）陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す